

疾病抵抗性の評価開始

2025乳用牛改良推進実施計画

—乳用牛改良推進協議会—

7月4日、乳用牛改良推進協議会は2025年度乳用牛改良推進実施計画を発表した。 同協議会はゲノミック評価（以下、G評価）を情報（以下、能力等）を活かし、遺伝的改善を積極的に行い、都道府県関係者と連携して、情報の活用促進と優れた国産種雄牛の作出・利用拡大等に取り組み、我が国の乳用牛改良を推進している。 本紙では同協議会が発した2025年度乳用牛改良推進実施計画の概要を紹介する。	力とともに長命連産性に、関わる耐久性や繁殖性、疾病抵抗性などの改良が課題である。一方、それらの性質は、飼養環境の影響を受けるなど、高温多湿な畜舎の飼養環境に即した遺伝的能力評価の高度化・拡充が重要となっている。そのため、2023年度に参照集団の拡充等により国産G評価の信頼性向上を図り、2024年度にはNTPに空胎指数と受胎率を含めた繁殖性指数と体のサイズを適正化するなどの大きな指針を追加するなどの取組を進めてきた。2025年度はG評価のメリットをさらに活かして、日本の飼養環境への対応を加速化することを目標
--	--

- し、2つの柱と7項目を基本方針として取り組む。
- (1)日本の飼養環境に即した遺伝的能力評価の強化
 - ①疾病抵抗性の評価開始
 - 6つの疾病：乳房炎、胎盤滞留、産褥熱、第四胃変位、乳熱、ケトシ
 - ②この抵抗性及び疾病抵抗性指数G評価を8月から開始する。
- (2)NTPの逐次改善
 - ①来年2月評価において疾病抵抗性指数をNTPに追加する（すなわち、NTPを逐次改善）。
 - ②新たな飼育改良目標を踏まえて、乳脂量と乳蛋白量の割合（乳脂蛋白）を検討する。
- (3)蹄趾に関する
 - ①蹄病に対する抵抗性や歩容等の遺伝的能に基づく、蹄趾を強くするなどの指数的の開発を進める。
 - ②暑熱耐性の信頼度向上と評価形の拡充
 - ③暑熱耐性の評価値に基づく牛群決定の甲中成り情報等の活用による信頼度向上への検討を進める
- ほか、新たな評価指標の開発を進める。
- (2)日本の飼養環境に合った国産種雄牛の活用拡大
- ⑤調整食の改善
 - ①日本の飼養環境に合った種雄牛選抜のため、G評価の信頼性維持・向上

に必要なのは新世代が十分に確保できるような、従来の仕組みを基本に調整・配の改善を検討する。

②2025年度の調整・配回数は2024年度を2.0超らない水準とする。

③情報発信と連携を深めるための取り組みより分かりやすく、見やすく、使いやすい情報の発信に努める。赤本については電子化の検討を進める。また、説明会や勉強会、意見交換の場などを充実する。

④ヤングサイアの活用拡大

前記の取り組みを進めつつ、20%程度に留まってきたヤングサイアの活用をさらに拡大し、国産種雄牛による乳用牛改良

また、遺伝的能力評価の確認事項として①遺伝ベースの変更、②公表スケジュール等が提示された①遺伝ベースの変更にについては、遺伝的能力は、平均的な雌牛に支配した際、期待される遺伝的能力を表すことが望ましいこと、前回の遺伝ベースの変更（2022年2月）の変更に、から約5年経過したことから、2026年度2回評価・遺伝ベースを変更する。②公表スケジュールについては下表の通りで、種雄牛評価（国内種雄牛）年2回、雌牛評価①及国際評価（海外種雄牛）は年3回と従来どおりである。

最後に①月評価から開

日本ホルスタイン協会の助成を受けて研究開発

始まる。乳用牛改良推進協議会は、(独)家畜改良センター、(一社)日本ホルスタイン登録協会、(一社)ジェネティクス北海道、(株)十勝家畜人工授精所、(一社)家畜改良事業団が運営しています。

公表スケジュール	種雄牛評価	雌牛評価	母牛評価
2025-08 月	2025 年 08月05日	2025 年 08月05日	2025 年 08月05日
2025-11 月		2025 年 11月25日	2025 年 11月25日
2026-02 月	2026 年 02月10日	2026 年 02月10日	2026 年 02月10日
2026-04 月			2026 年 04月10日

表1 令和6年度登録等申込と自動登録実施状況

	会費納入		血統登録		移動証明		審査成績		検定成績		自動登録		
	件数	対前年比	頭数	対前年比	件数	対前年比	件数	対前年比	件数	対前年比	実施農家	開始農家	
青森	119	89.5	695	416	86.7	40	44.0	161	95.3	69	101.5	19	0
岩手	543	94.1	4,709	2,443	98.5	181	51.4	1,139	91.7	912	107.3	150	11
宮城	144	92.9	473	367	90.3	11	64.7	218	94.4	198	85.3	49	0
秋田	51	94.4	349	343	96.9	1	25.0	88	96.7	170	118.1	40	0
山形	85	88.5	405	271	91.0	17	89.5	119	73.0	6	600.0	33	0
福島	173	87.8	1,280	1,020	111.4	75	166.7	276	112.2	23	115.0	60	0
茨城	137	95.1	1,948	1,753	93.2	27	79.4	255	103.7	187	105.6	73	1
栃木	157	90.8	2,396	2,020	103.9	26	173.3	291	81.5	778	109.3	106	1
群馬	169	97.1	3,486	2,235	96.6	267	81.9	547	96.6	47	120.5	58	1
埼玉	266	108.3	279	196	103.3	2	200.0	105	79.5	434	113.6	13	0
千葉	81	97.6	984	850	105.6	18	180.0	356	87.3	530	115.0	56	6
東京	23	100.0	172	108	97.8	18	257.1	75	121.0	0	-	14	0
神奈川	36	90.0	265	127	75.3	11	47.8	60	96.8	0	-	21	1
新潟	44	88.0	360	147	104.7	20	125.0	185	112.1	228	115.2	16	2
富山	12	120.0	180	168	99.4	0	-	8	40.0	0	-	10	2
石川	3	100.0	50	23	185.2	1	100.0	25	119.0	9	-	2	0
福井	9	100.0	94	91	79.7	0	-	7	77.8	1	-	10	0
山梨	40	93.0	260	217	95.2	20	153.8	201	87.0	0	-	8	0
長野	124	92.5	853	674	110.2	57	142.5	250	105.0	327	135.7	41	0
山崎	47	104.4	513	346	103.6	9	52.9	163	114.0	123	150.0	38	0
岐阜	88	98.9	536	492	97.3	3	300.0	53	69.7	0	0.0	45	0
愛知	157	94.0	2,134	1,852	100.7	54	180.0	250	135.9	37	336.4	73	4
三重	20	105.3	32	6	100.0	8	100.0	2	40.0	0	-	2	0
滋賀	17	94.4	251	126	98.7	23	88.5	14	77.8	22	100.0	13	0
京都	17	106.3	157	215	109.1	11	122.2	27	79.4	49	140.0	12	0
大阪	29	90.0	109	85	83.2	2	7.1	0	0.0	0	-	11	0
奈良	93	94.9	607	418	85.7	77	92.8	43	51.2	28	44.4	47	2
和歌山	2	100.0	3	42.9	0	0	-	0	-	0	-	0	0
徳島	84	97.7	1,810	1,723	103.4	2	200.0	90	112.5	99	-	91	1
島根	20	90.9	254	172	112.4	21	105.0	59	120.4	0	-	11	0
岡山	98	97.0	1,517	1,409	110.2	0	0.0	292	108.6	44	64.7	132	0
広島	43	81.1	449	358	116.3	116	170.6	42	123.5	0	-	37	1
山口	22	81.5	246	223	93.2	0	0.0	9	64.3	0	-	27	0
徳島	7	100.0	69	8	115.0	11	64.7	37	68.5	5	71.4	1	0
香川	9	112.5	107	84	187.7	0	-	0	-	0	-	4	0
愛媛	35	85.4	380	231	103.8	14	60.9	222	138.8	0	-	13	5
高知	12	100.0	141	92	97.2	0	0.0	37	90.2	0	-	10	0
福岡	100	90.1	1,143	845	89.7	21	131.3	104	35.5	1	5.3	69	3
佐賀	15	88.2	129	115	121.7	4	80.0	15	125.0	10	-	10	2
長門	30	76.9	145	145	84.3	1	14.3	25	92.6	0	-	29	0
熊本	426	95.3	4,063	3,340	106.4	456	102.9	488	84.9	253	124.0	199	3
大分	12	70.6	713	569	110.4	44	133.3	204	107.4	0	-	33	0
宮崎	187	94.4	947	716	91.1	77	59.2	250	85.6	80	114.3	70	2
鹿児島	119	93.7	1,769	1,617	106.6	29	35.8	67	75.3	1	-	101	3
沖縄	30	107.1	256	41	137.2	116	178.5	12	109.1	0	-	1	0
その他	0	0	-	-	80.0	27	45.8	0	0	-	-	-	-
都府県	3,675	93.5	37,722	28,697	100.6	1,918	86.3	6,871	92.9	4,671	113.5	1,858	56

注1) 品種はジャージー種以外の乳用種すべて
注2) 審査成績には雄も含む
注3) 対前年比が「-」は、前年が0件の場合

表2 各種申込件数の推移

年度	会費納入	血統登録	移動証明	審査成績	検定成績
平成 27	5,991	44,278	5,172	9,922	4,920
28	5,643	42,102	3,975	9,447	4,500
29	5,572	46,113	3,932	9,732	4,493
30	5,223	46,546	3,511	9,460	4,252
令和 1	5,063	47,751	3,287	9,395	4,299
2	4,811	44,656	3,401	6,017	4,196
3	4,516	45,386	3,178	9,000	4,186
4	4,279	41,527	2,892	7,675	4,396
5	3,932	37,489	2,222	7,398	4,117
6	3,675	37,722	1,918	6,871	4,671

群馬県40頭、岡山県29頭、栃木県の20頭など。また、飯木県Jエヌ牛も岩手県が22頭多く、次に群馬県16頭、熊本県11頭などでした。

検定成績証明は14671件で、前年度比1・3・5%と各種申込で減少が目立つ中、大幅に増加しました。これは会員酪農家皆様の検定成績証明事業へのご理解と、それに携わっている関係者の普及・拡大の努力の賜物であると言えます。また、令和元年度から開始した登録情報活用システム（R・U・S・ライナス）では、血統能力証明書では表示されなかった血統情報や歴代の審査成績などをパソコンやスマートフォンで閲覧できます。

す。既に使われている方もおられると思います。R・U・Sの対象は検定成績証明の自動継続申込農家であり、すべての酪農家が閲覧することはできません。都府県では77戸の申込農家が利用可能となっています。日本牛協のWebサイトではR・U・Sのデモサイトや紹介動画を用意していますので、興味のある方はサイトを覗いてみてはいかがでしょうか。

改良で酪農を支える

厳しい酪農情勢の中で、日本牛協では牛群改良の基礎となる血統登録を推進し、遺伝病予防や近親交配を回避するための情報提供、また体型審査や検定成績証明、さらにはゲノミック評価値を活用して、より高い生産能力と長命産性に富んだ牛群づくり、さらには酪農経営の安定向上に貢献できるよう引き続き努力いたします。

最後に、長命産性性の改良に向けて8月の遺伝登録からは疾病抵抗性指数公表が開始されます。これは日本牛協が実施した「RA事業の研究結果に基づき、疾病に罹りにくい雌牛を作出するための一助になることが期待される指数です。改良の基礎となる血統登録の質と量に推進しつつ、最新のゲノミック評価の研究と今後とも酪農経営の基盤を支えるような取組みを進めてまいります。

（調査課 岡）

[illegible]

0
1
0
0
1
0
0
0
5
3
2
0
3
3
3
0
-
50

審査成績証明は687
件で、前年度比92・9
％でした。

審査頭数は1割近い大
幅な減少になりました

で当協会に正職員として採用され、事業部登録課に配属となりました。梶川和輝と申します。

私は愛媛県の兼業農家出身です。愛媛県立農業大学校で酪農専攻し、北海道の帯畜産大学畜産学部に編入し、同大学院を卒業しました。

農業大学校では、2年間の実習を通して家の乳量および細胞ス

より専門的な内容を学びたいと考え、家畜育種学研究室で三種の気象観測方法を用いた乳牛における熱ストレス耐性の遺伝的評価について研究を希望しました。本研究では、牛群検定や血統記号など、長期的に蓄積された現場データを活用する

討を進めるのができてきた。日々の記録や決定事業の積み重ねが、科学的根拠に基づいた畜産の発展に不可欠であることを深く実感しました。

この度、縁があった入会させていたいただき、現在は当協会の基本である血統登録証明や移動証明の業務を勉強させていただいております。

行っていく上で、酪農家・支部・承認団体および関連団体の皆様のご尽力・ご協力がなければ巴漕な業務は難しいと考えております。

これからも当協会の一員として自覚と責任を持って精進していく所存です。至らぬ点があるかと思いますが、ご指導・鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

血統登録は前年より微増

令和6年度 都府県 各種申込状況から

減少傾向にひと息

第16回全共まで
あと97日



全共歴代名譽賞牛紹介⑩

第10回（1995年／千葉県開催）

ヒーマン クレイタス レボリューション

千葉県・藤平 誠一 さん

新人紹介

事業部登録課
梶川和輝

この度、6月1日付で当協会に正職員として採用され、事業部登録課に配属となりましたに梶川和輝と申しします。

コアの影響について検討を進めることができました。日々の記録や検定事業の積み重ねが、科学的根拠に基づく畜産の発展に不可欠



また当協会の業務を遂行していく上で、酪農家、支部・承認団体および関連団体の皆様のご尽力・ご協力がなければ円滑な業務は難しく考えております。

正確な血統登録が乳牛の能力向上に寄与し、酪農家の皆様の財産である愛牛や経営の安定と発展に貢献できると考えております。

日本ホル協特集

次の一歩の
力になる。

東京海上グループ° *To Be a **Good** Company*



東京海上日動